

夕日新聞

刊休無中年
本紙一ヶ月二十錢
郵送料一ヶ月三錢
廣告料一ヶ月三錢
發行所 石城郡平町
印刷所 石城郡平町
電話 東北四七

社説

平町議戦の最初の候補者としての名乗りをあげた宇佐美君が、變り種としての一ツであるが、町民に聞かれぬやうな新顔がどの方面からも現はれるであらう。

無産階級からも候補者が現はれなければ、普通の目的を達成することができない、ありとあらゆる階級からそれらの職能を代表する人物が平町治の運用にあたることによつて始めて自治體の完璧を期することが出来る。普通選の形式において法規を尊重し、その形骸のみを禮讃することは實に普通選を精神的に殺すことになるのである。

要は普通選を發布した精神に生き、その精神の徹底を期さなければならぬ。選挙の淨化と、參與する人物が各職能の代表者であらねばならぬこと、政治そのものが、國民の經濟生活にまで現はれることでありたい普通選の精神化即ち人格化しなければならぬのである。大衆の政治的めざめがやがて普通選の精神を體して突き進むことによつて地方自治は今より善くなるであらう。

形勢全く悪化して来た

小名濱町の大敷網問題

目下双方共漁夫を備入れ 投網の準備にかゝる

小名濱町大敷網問題は愈々重大化し白井側では来る二十日頃から投網すべく漁夫百二十名を雇ひ既に沖合漁場にブイを浮かべて全く投網の準備をしたこれに對して高橋側でも数日前から漁夫四十餘名を雇ひ白井側投網の後方に接近しブイを入れつゝあり投網開始を目前に控へ漁場を中心にして戰雲將に渦巻き起らんとする險惡なる空氣が充満して来た

最後の警告を發する

高橋側に對して

應せねば二つの罪を告訴する

小名濱大敷網漁業は貸賃權ものと認め從つて投網開始確認訴訟中にあるので小名は出來ないから現在入れつゝ、江名兩漁業組合では投つあるブイを全部つ回す網を拒絶したにも拘らず別べしと忠告したところ小島項の如き險惡な事態となつ氏は一個の考へで決しかねた爲六日午後一時から江名らの考へで決しかねた小名濱兩漁業組合幹部大敷する旨を言明して退席した網代表者郡可氏等は小名濱が問題は益々險惡の度を増漁業組合事務所樓上に緊急しつゝある右について組合對策協議會を開いた結果あ側では語る

平信事務引ツギ

平信用組合の紛争も既報の如く鈴木縣議等の調停によつて圓滿解決されたが新舊理事の事務は今七日完全に引継ぎを終つた

會見申込み

組合側に對して

打ち捨てて置かれぬの險惡な空氣が海上にまでまで本日緊急幹部會を開いたが從つて來たので漁業組合最後の警告を發すると側では前記の如く對策協議會同時に平署に報告して今の結果高橋氏の責任者には後の處置を依頼したが高通告を發した爲め高橋氏は橋氏の投網の模様は白井昨夕組合がはる會見する旨方の後方に網をおろさん申込んだがら兩者會見の結果としてあるこれは漁業開果は注目されてゐるが圓滿始の意志なく妨害せんと解決は望まれないばかりにしてあるものと見られるなく更に一層不穩状態に陥從つて組合側としては高りつゝあるので全く豫斷を橋氏が最後の警告を聞か許さぬことになつた爲め平す投網する場合は漁業權署では嚴重警戒に努めての侵害並に營業妨害として

昨日の夕刻勿來海岸で

コモ包の死体發見

植田署では近來の怪事件として活動開始

石城郡勿來町海岸に六日午後四時頃一個のコモ包が漂着してゐるのを通行人が発見包を開いた處中に古新聞に包んだ生後間もない嬰兒の屍體が現はれたので大いに驚き直ちに植田署に届出たが一方植田署では近來の怪事件として直ちに犯人の搜索を開始した、尙探開するに附近の者の犯行らしく分へんはしたが處置に困りはててコモ包のみならず海中に投棄したものらしいと

伐採を延期された

新川端の櫻

然し夏頃迄の壽命で 秋迄には姿をけす

平町の新川端工事は今年演會は十二日午後七時から度豫算一萬六千圓を以て愈平町郡會議堂で開催々着工したが全長三百六千間の大擴張を今年度内に行ふとなれば名所の一つである新川端の櫻を伐採する事になるがそれでは折角彫らんで來た櫻の爲めにも、又町の爲めにも惜しいものであると委員側では様々協議を重ねた結果櫻櫻時分の七月頃迄工事を延期する事に決定した

平署刑事の大捕物劇!

昨日南町路上で

石城郡湯本町備中屋旅館に於て宿泊料六十圓を踏み倒して逃走した四人組の詐欺團あるのを平署で届出により警かいた中昨六日午後四時頃猪狩、半澤の二刑事が四

平局舎の工事入札

近く平町で行ふ

總工賃十五萬圓を以て新築することになつてゐる平町郵便局舎は本省の都合からまだ工事に着手されず一ヶ月一百圓の家賃を拂つて借家すまひをして居るがよいよ近く着工することになつた工事入札は本省で行はず本省から係官來平して平町に於て入札に附す。豫定となつて居り遅くも今月末ころまでには入札の運びとなる模様である

文化學講演會

平教育會主催日本文化學講

民衆娛樂デー開催 本社創立記念事業

平町松ヶ岡公園の櫻は縣内花の名所の一に數へられてゐる事は周知の事實ですが此の花の名所を更に廣く紹介しより多くの觀櫻客を吸引する事は凡ての方面から見て平町を利益するものであると思料し本社は櫻花満開時を期して平町のために民衆娛樂デーを開催する事に

ました此の催しは其の目的が花に興を添へより多くの觀櫻客を集め人氣を立たせる事生活に疲れ一日の歡樂を求め人々を慰安する事等々であります開催期はプロگرام等は追つて詳細に發表します

東北日日新聞社

日曜歌壇

平館生

○此の春を名残り知らず咲く花の 心思ふて 涙なりけり

才穂小路 丸木生

○夜は更けて家に歸りて ベンどれば 時計の音の我が胸に迫る

○假初に思ひし少女の去り行きて その日虚ろに淋しみの湧く

○友々は試験に惱む此の日頃 我のみ虚ろに何事もなし

○月末に始めて貰ひし月給の 軽きに過ぎて涙催す

白銀町 鐵山生

○紅梅のはころびをめし 二輪 春は歌へり賤がふせ家に

○教會の窓の硝子に輝ける 春の夕べのにはひ寂しき

○鶯の一聲高く飛び行きぬ 春の静けき真晝の中を

○東海の砂山に君と語りける 年を算へて又春は來ぬ

○砂山に貝を算へて別れける 君を思へば淡く悲しも

○いつと待つともなしに山影の 森のしけみに梅咲けるかも

○ひともしして旅人らしくふるまひつ 車窓にう

つる青き色かも

搔搔小路 論茶尼

○害ありと止ごめもあへず 晩酌を 樂しみ出行く父を思へば

○心なく母のあげ足取りて後 心ぐるしくそつとたちさる

○病床より

平町 小之瀬静子

○小雨する病む問しづも りごこよりか かすかにきこゆ鶯のこえ

○あけがたの三時にてあり母上の すり泣く聲にふと目さめしは

○腫れし手にチクリとさし注射器より 液は

○静かに皮下にしみゆく 城山の十時をつぐる鐘の音よ 病む身には長

○しはるの夜すらも

○まくらへの薬はへれど此のからだの じくみ

○は何時よりへりそめるらん

○かけゆきて我がのりたりし汽車はいま 驛に

○着きけり吾は病む身にて

○春雨のけぶりながらに日は暮れぬ 今宵の長さ

○をいかにすすぐさん

和歌

渡邊穂津子

○ひばりなく 野邊に草

○きたつや春の一日

○我れ愛つる 古木なれ

○共はち植の 花もほこるるまひつ 車窓にう

○菜の花や たわむるてふの愛らしきかな

炊骨

○春の日は先つ柳から黄昏る

○淋しき今

佐藤宙宇二

○水枯れし古池に 寒椿

○鳥が聲も立てずにと

○窓にも裏山にも 淋しい星か一つ一つ

くわくわする心

○想、郷、友

○山峽に白雪田に薄氷野にも 燒跡野火の跡

○若草伸びしあの里の今頃友と別れ來て

○日毎心に想ひごも 面

○白くない此の頃

○月の光も淋しさう 異郷にいつも想ひます

○春寒し

酒井尚文

○朝ね坊 身ふるひをす

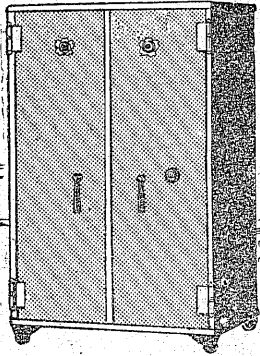
○春寒し

金庫工業界に一新紀元を劃し

斯界の驚異的焦点となる

日英米國專賣特許品 國立工業試驗所に於て攝氏一千度以上の耐熱實驗中五時間五十分の有効証明を發表せられ 當地東部電力株式會社、平營業所始め多數官廳、銀行、會社商店に納入し特別指定の光榮を得たり

佐倉金庫



輕量ルーテスルーオ 實物を御覽に供し 型録無代にて進呈す

今般露のた實費賣に依る舊來の金庫より 低康して使用上最るる經濟な

株式 佐倉金庫店 本社 東京市京橋區松屋町 平町白銀町

東北總代理店 石島商會 電話六五〇番

時代の進歩

フランス式!!!

- 漸新なる機械の完備
● カラー類ローラ仕上げ
● ドライクレーニンング
● 回其他洗濯物一切

小松西洋洗濯所

平 鍛 冶 町 吉田屋呉服店向

丸ほん

三丁目・電三五五九 月見町工場・電七三番

開業披露!!!

本場特撰諸銘茶大賣出し

回五丁目の堺屋

御茶司 長樂園 電呼七三六番

◎御贈答品特に御相談に應じます

古壁が新らしくなる高級水性

文部省 古壁 アゾール

各鐵道省 御用 塗料

素人が刷毛一本で 完全に手がるに出来る

春帽新荷着!

玉屋洋品店 平町田町通り 電話六五六番

御節句の御引物には

何卒弊店の引物用漆器を 御使用下さい 種々取揃へてあります 是非一度お越し下さい

和久井屋漆器店 電話四〇五番

玉秀 ヒナ人形賣出し

種類が多いのこ

品の良いのが自慢

二丁目

福田屋ふとん店

石版印刷 迅速廉價 本社印刷部

雛人形と

御道具のデパート

平町四丁目

スガノヤ提灯店 電話七二二番

ヒナ人形大賣出し

今年も自慢の御道具類 陳列致しました 回は非一度御越しを願ひます

平町三丁目

加藤提灯店